

受験生の皆様へ

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター附属看護学校

< 1. 遵守していただきたい事項 >

受験するにあたり以下の点を必ず遵守してください。遵守していただけない場合、受験することができません。

- 試験会場内ではマスクを必ず着用してください。(写真照合の際は一旦マスクを外していただきます。)
- 休憩時の水分補給時に一時的にマスクを外すことはできます。なお、マスクに文字や絵柄等がプリントされているものは使用を認めませんのでご注意ください。
- 飛沫が拡散しますので、試験会場内での私語は控えてください。
- 試験当日、受付において、発熱・咳等の症状の有無を確認します。係員の指示に従い、検温を受けてください。
- 試験会場内では、係員の指示に従ってください。

< 2. 注意事項およびご協力いただきたい事項 >

- マスクの着用、手洗い、うがいの励行等、感染症予防と体調管理に努め、試験に臨んでください。
- 別添の「健康チェック表」に、試験前2週間と試験当日の体温・症状等を記載し、試験当日の受付時に提出してください。
- 試験当日から起算して、2週間以内は感染拡大地域への旅行や密になるような環境はできるだけ避けてください。
- 試験室への入退出時は試験会場に設置しております速乾性アルコール製剤によって手指消毒を行ってください。
- 休憩時間は他の学生との接触、会話を極力控えてください。
- 換気を実施するため寒暖差が生じる可能性があります。体温調節しやすい服装でお越しください。
- 入場は受験者本人のみ可能です。付き添いの方は入場いただけません。
- 机には受験番号が貼られています。自身の受験番号の机と椅子以外は使用を控えてください。
- 試験終了後はマスクを廃棄せずに寄り道などせずにまっすぐ帰宅してください。

< 3. 受験生の皆様の安全確保のため、試験会場で行う感染予防対応 >

- 係員は、あらかじめ検温を行い、健康状態を確認しています。
- 係員は、マスクまたはフェイスシールドを着用します。
- 試験会場内では空調の使用や換気を行います。

受験生の皆様へ

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター附属看護学校

<受験が認められない方>

以下の方は、受験することができません。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、入院中または宿泊療養・自宅療養期間中の方
- ② 保健所等から濃厚接触者に該当すると連絡を受けた方で、初期スクリーニング（自治体等によるPCR等検査）の結果が判明していない方
※検査結果が陰性で、かつ無症状である方は受験を認めます
- ③ 海外から帰国あるいは来日して2週間が経過していない方
※自治体等によるPCR等検査の結果が陰性で、かつ無症状である方は受験を認めます
- ④ 試験前2週間または試験当日に、継続して新型コロナウイルス感染症の症状（発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚障害、その他）があり、あらかじめ医療機関の受診を行っていない方
- ⑤ 試験当日、自宅等で検温し、体温が 37.5 度以上あった方
- ⑥ 試験当日、試験会場での検温において、体温が 37.5 度以上あった方
- ⑦ 試験中に新型コロナウイルス感染症の症状（発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚障害、その他）に該当するような体調不良となった方、あるいはそのように係員が判断した方

上記①～⑥のいずれかに該当する方は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、受験を認められません。なお、①～⑤のいずれかに該当する方は、速やかに本校に連絡してください。⑦に該当する方は、受験を中断いただくこととなります。

<受験が認められなかった方について>

- 試験当日までに、<受験が認められない方>の①～⑤のいずれかに該当し、受験が認められなかった方は、本校まで速やかに連絡してください。事前に連絡があった方は、令和3年2月4日（木）の追試験を受験することができます。
- 試験当日に<受験が認められない方>の⑥、⑦のいずれかに該当し、受験が認められなかった方は令和3年2月4日（木）の追試験を受験することができます。

追試験日当日の試験科目、タイムスケジュールは令和3年1月19日（火）入学試験と同じです。

- 試験会場は試験前に清掃、消毒を実施しています。
- 試験会場には手指用消毒液を設置しています。
- 試験会場は、席や机の配置等により、受験者同士の距離が近くならないようにしています。

< 4. 入学試験に関する問い合わせ先 >

- 入学試験に関する問い合わせは、以下の連絡先へご連絡ください。

独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校

入学試験係 TEL:096-352-5691 (平日9:00~17:00)

以上

健康チェック表 〈 用〉

受験番号() 氏名()

*1日1回以上検温を行い、複数回測定した場合は一番高かった体温を記載してください。

*下記の症状の有無を確認し、症状があった場合は記号を記載してください。

- A 息苦しさ(呼吸困難)がある
 B 強いだるさ(倦怠感)がある
 C 味を感じない(味覚障害がある)
 D 臭いを感じない(臭覚障害がある)
 E 咳の症状が続いている
 F 咽頭痛が続いている
 G 下痢をしている
 H その他()

月 日	体 温	症 状	月 日	体 温	症 状
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	
月 日 ()	℃		月 日 ()	℃	

試験当日: 月 日 ()	体温: ℃	症状:
---------------	-------	-----

*以下の質問にお答えください。

- 「新しい生活様式」を守った生活をしていた。 (はい ・ いいえ)
- 24時間以内に風邪薬・解熱薬・鎮痛薬などの薬を飲んでいない。 (はい ・ いいえ)
- 保健所から濃厚接触者に該当するとされ、試験当日は健康観察期間中である。 (はい ・ いいえ)

※この用紙は、試験当日の受付時に提出してください。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



密集回避

密接回避

密閉回避

換気

咳エチケット

手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画をたてて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 狭い部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成